



# 安心できる 見守りの目

とは

防犯活動を意識しない「自然な人の目」が  
「犯罪に巻き込まれるかも知れない」という  
不安の解消に効果が高いことがわかつてきました。

## 見守りの目1 機械の目



- 防犯カメラ
- 照明灯

## 見守りの目2 組織の目

- 町会・自治会・自警団
- 自主防犯パトロール
- 警察官等

## 見守りの目3 自然な人の目

- 犬の散歩
- ウォーキング
- 花を愛でる
- 花壇・公園管理
- 日常業務中 等

Etc.

その他見守りの目



【検証論文 QR】



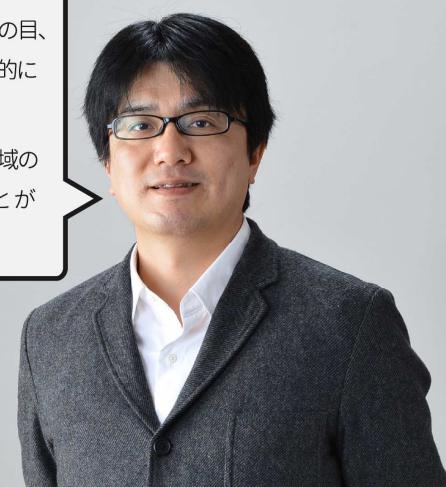
住民が不安に感じる場所と  
各見守り方法によるカバー率

ながら見守りは  
こうして生まれた

ながら見守り活動が  
地域の不安を解消します。

地域の安心のためには、機械の目、  
組織の目、自然な人の目を効果的に  
組み合わせることが有効です。

なかでも自然な人の目は、地域の  
皆さんの安心に寄与することが  
知られています。



雨宮 護 (ameみやまもる)

筑波大学准教授

足立区防犯まちづくり推進アドバイザー

【略歴】  
筑波大学大学院システム情報工学研究科  
修了(博士・社会工学)。科学警察研究所  
研究員、東京大学空間情報科学研究セ  
ンター助教を経て現職。

専門は都市計画、犯罪学、犯罪分析と  
防犯まちづくりに関する多くの論文を発表。  
著書に『犯罪と市民の心理学』(北大路書房)等。